

### Ⅲ 価値の共創に向けた3つのアプローチ

現代の保護者は、自分の子ども以外で幼い子どもと接した経験が少なく、子どもが生まれてから手探りで子育てを始める場合が多くなっています。子どもが日々成長するように、保護者もまた、子どもと共に成長していきます。子どもの育ちに応じた関わり方を模索する中で親育ちが図られます。

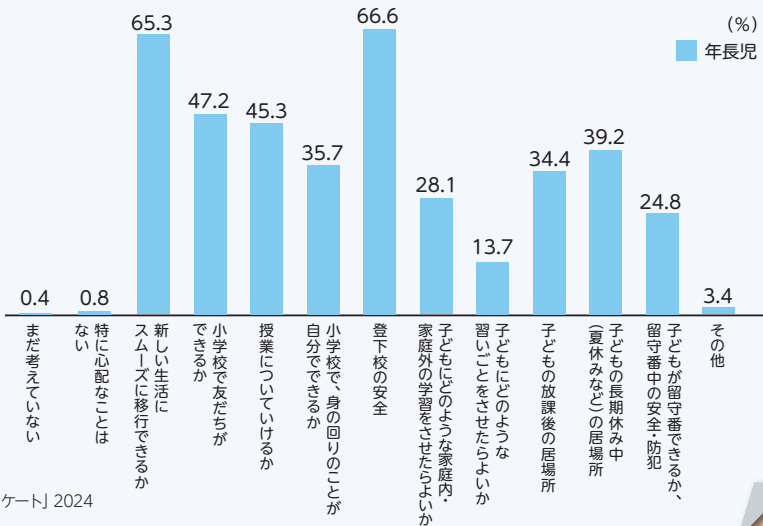


#### 小学校進学に関わる保護者の不安



子どもの小学校入学に際しては、岐阜市の保護者の多くが様々な不安を感じています。特に、登下校の安全や新しい生活への移行については、6割を超える保護者が心配しています。その他に、小学校での友だちのことや、勉強のことが挙げられます。

Q. お子さまの小学校入学にあたり、保護者として心配なことはありますか。(複数回答)



参考資料：岐阜市教育委員会「ご家庭での子育てなどに関するアンケート」2024

## 3. 実践研究を推進する

岐阜市では、幼稚園や保育園、こども園などの多様な学びの環境があります。多様な実践主体の存在を岐阜市の宝として、相互に磨き高め合っていく環境が理想です。そのために、オール岐阜で幼児教育の充実に資する実践研究が行われるための環境を整備するとともに、様々な取り組みについて率先して行うことが求められます。

#### 子どもの姿を通じて

実践の可視化・共有化には、公開保育は重要かつ有効な取り組みです。教育・保育施設と小学校が相互に保育や授業を公開し、子どもの姿を通じて交流することで、子どもの生活や遊びを通じた学びの具体的な姿を理解し、認識を深めることができます。

#### 公立教育・保育施設

2024年度時点で、岐阜市は、2園の公立幼稚園と11か所の公立保育所を設置しています。要領・指針の趣旨を踏まえた幼児教育の実践に向けて、これまでの経験から得られた知見を活かし、広く幼児教育の質の向上を図る役割を担っています。